



落部村

落部村と云は渡島の因  
たる茅野郡に在る淀箱  
館十七里斗常に昆布  
んらゆぐれ魚も鹿熊  
取て世に...  
今ハ此道...  
御方...  
渡部...  
北海道人  
佛の法...



一陽齋写

甘泉堂版







札幌本府

法佛より  
北海の人  
まのつた  
たしき  
極き歎也  
あれ  
こころ

勅賜 東本願寺管刹地所  
明治三年庚午七月



甘泉堂版







北海道新道切開

渡島國茅部郡  
生草川ヨリ砂原マテ九  
六里半膽振國有珠郡  
室蘭郡ヨリ後志國  
小樽郡石狩國札幌  
御本府マテ凡九七里半  
枝道十七里

お徳さん  
おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ  
おのれ

東本願寺切開新道

五所



甘泉堂版







# 本府御酒被下之圖

明治三午年北海道新道墾拓  
 ころれ物の哀もあゝ蝦夷人  
 と濟度一たまらんそと龍飛  
 白神の暴き瀾と凌き雷電黒  
 松内の險き路と冒しひいと  
 祖師聖人の北陸東海の御化導  
 も思合せしむるそとそと畏き  
 あきりみ其片端とそと諸人に  
 見せ遊樂舞村にて土人そと  
 小六字の名號と賜ひそと  
 かゝ馬おくそと

大通辨 宇吉  
 役土人四ヶ所分  
 乙名 マサレン  
 イタキミシ  
 ビンゴ  
 キメサン  
 ヤエト  
 ニサント  
 エナシベ  
 カムイノ  
 ノイタク  
 トサンロフ  
 シルシカ  
 ラヤラツ  
 アチヤマウエ



甘泉堂版





札紀本府 其二

弘法大師偈

閑林獨坐草堂曉三寶之聲聞一鳥  
一鳥有聲人有心聲心雲水供了々

蓬窓月落天將曉欵枕  
閑聽念佛鳥唱名此地  
豈無由法夢東漸原了  
了  
松浦弘和韻

勅賜東本願寺管剎地所

明治三年庚午七月



庚午七月廿五日平旦  
兩三聲を聞て土人  
是を佛法鳥なりと云

夜に入ホッホッくと啼  
鳥あり土人は是をアラタ  
コダンチカウと云其譯  
黄泉鳥也其聲  
佛法と聞ゆ土人云  
昔一寂上ニシハ此鳥  
を聞て内地あり有る  
尊き高山に住る佛法  
僧と云ふ語らば  
依り始り佛法僧あり  
事なり

此地より黄泉鳥漢土より羅漢鳥  
まゝ唐韋蟾詩に静聽林飛念佛鳥等とあり

一窟齋

國輝



甘泉堂版









雷電越の危難



雷電越の西地谷の山ありは所も新を并け今及  
此横よりそく石原をさるるに生るに枯れりし  
何の怪我もあらずしふるを好し申す  
ハノ山道の危し客も中併のこれ先かめりしをさるる

鮮高永躍  
立商標

甘泉堂







渡島歸帆

船中より  
渡りつゝの  
わたりを  
そのまへの  
こゝろ  
北島の人



八幡丸

渡島  
國  
舞







歌  
棄

此里ハわづらより銃の  
漁場なりしう今夜  
善如疾の此通りの  
其日よりぬ、昆布  
とれ初々、村を一日  
に大利をなすも、  
此新を此切、因乃  
此子舟を莫大に  
此舟、此舟、此舟  
片が、此舟、此舟

海の人  
此舟、此舟、此舟



應要  
一曜  
國齊  
海五

甘泉堂版















餘市小樽之  
間求捷徑到  
海岸難處

荒浪の敷のしほ一はもの  
ついでに月もいりしは  
あはれをいふは  
まじくはなれり



應需  
國澤也

甘泉堂版



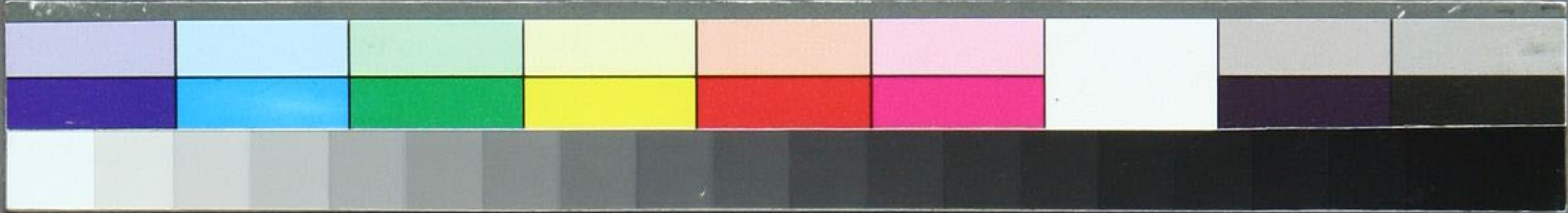






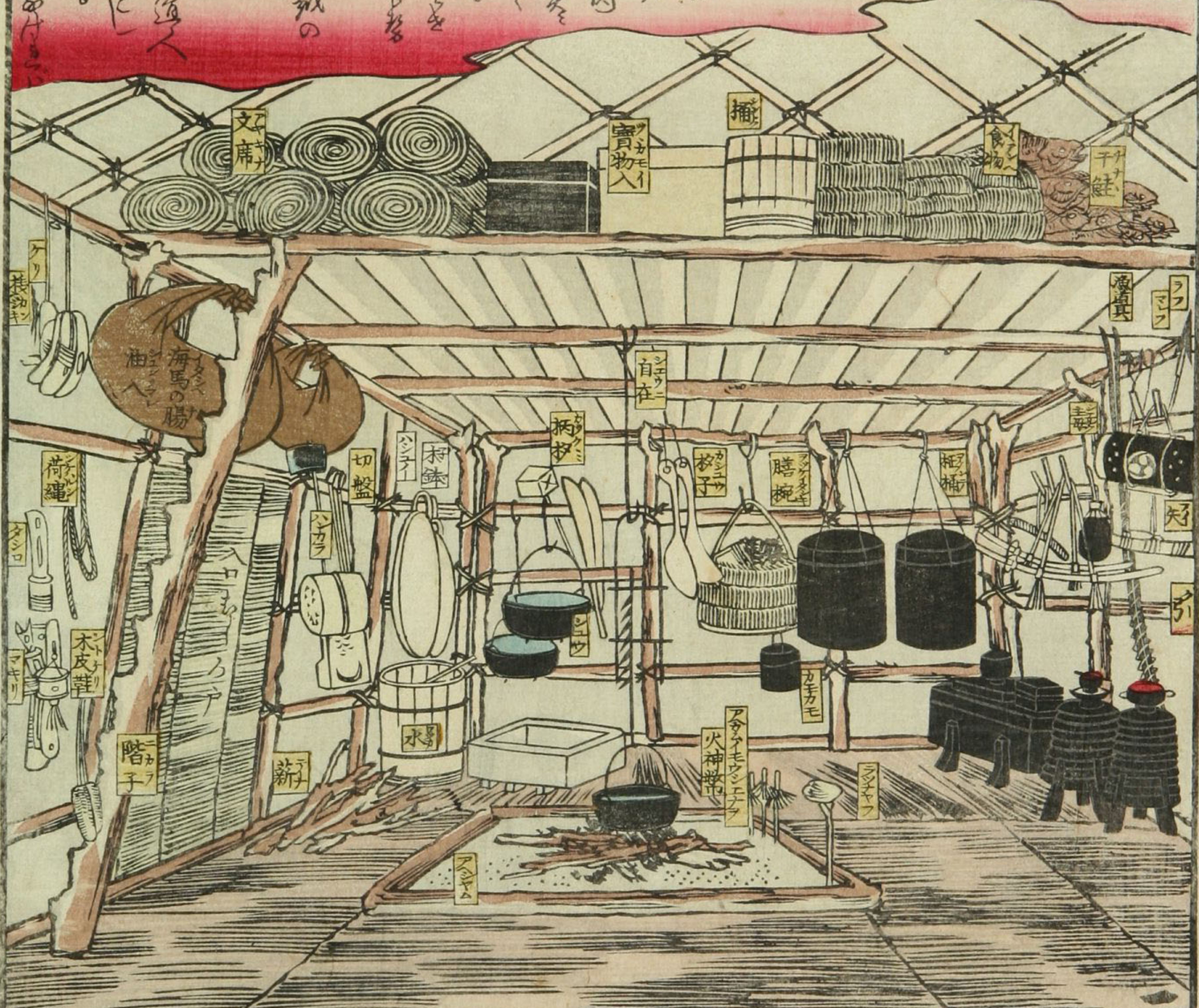






訓縫 其二

板更人の住る  
家、所々あり  
園、所々あり  
有仕切も  
器、建具も  
ある、所々あり  
庭、所々あり  
木、所々あり  
石、所々あり  
土、所々あり  
草、所々あり  
花、所々あり  
鳥、所々あり  
虫、所々あり  
魚、所々あり  
獣、所々あり  
人、所々あり



霍齋因輝

甘泉堂版